

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第50週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和5年 第50週分 12月11日～12月17日（12月20日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：260人、定点医療機関当たり5.42人、新規患者推計値※：1,227人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

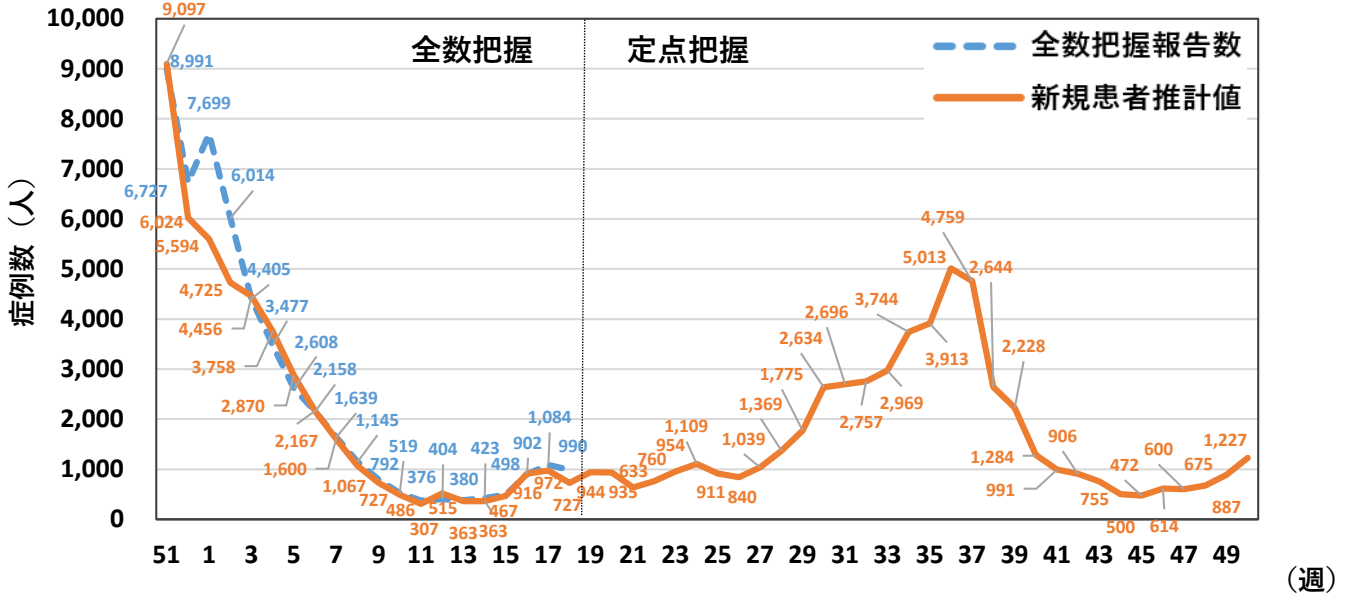


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

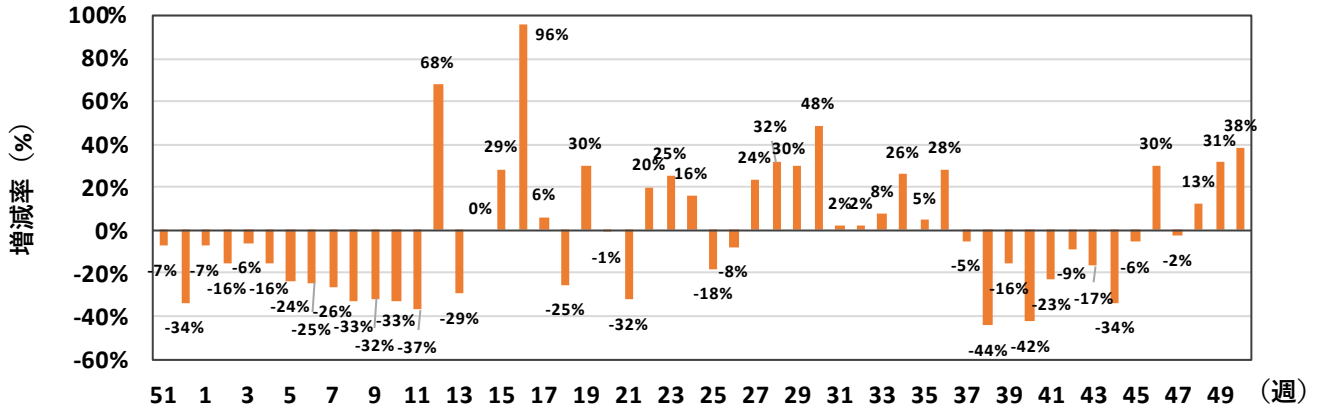


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第50週）

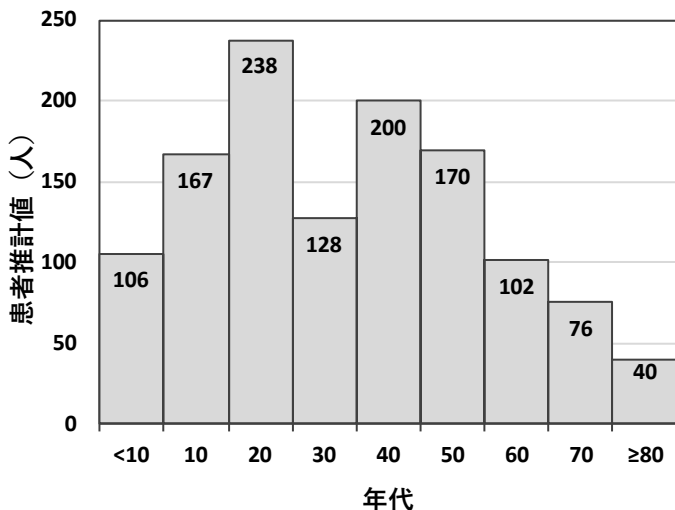


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第50週）

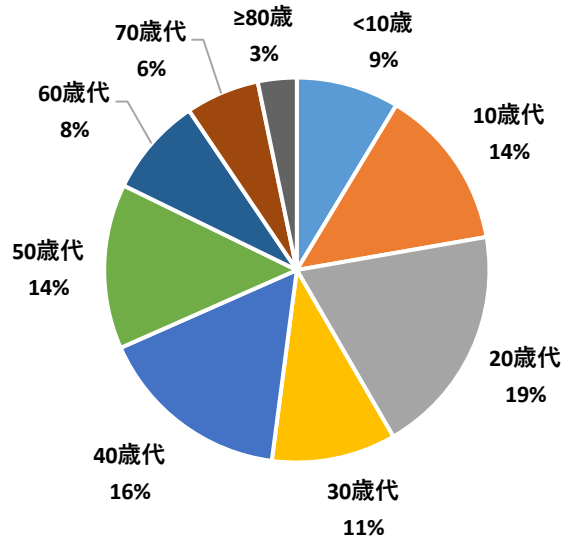


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

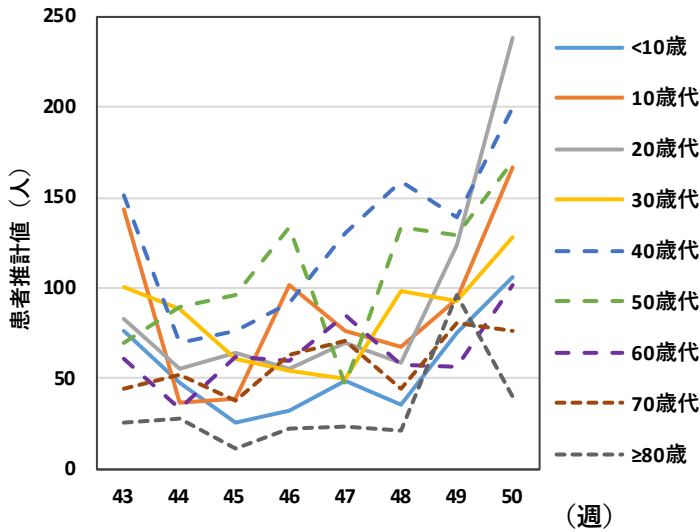
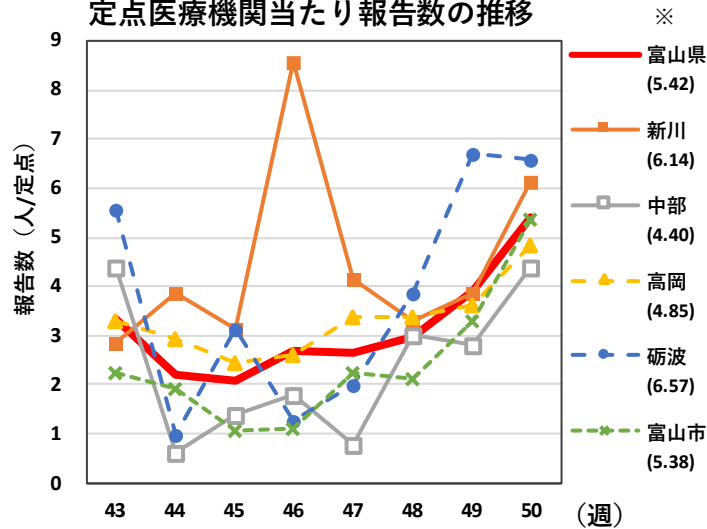


図6. 厚生センター・保健所管内別
定点医療機関当たり報告数の推移



※ () 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第50週、27例）

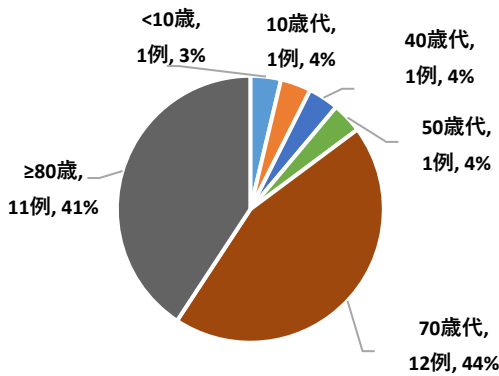
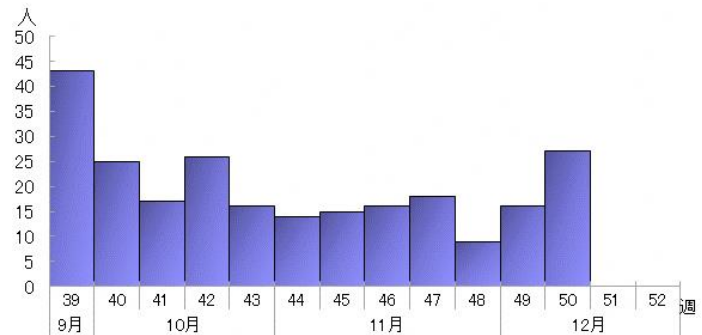


図8.COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）



第50週（12/11～12/17）時点での所見と評価

- 第50週の定点医療機関当たり報告数は5.42人、新規患者推計値は1,227人であった。前週推計値（第49週、887人）から38%増加した。（図1、2）。
- 第50週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。20歳代が先週の14%から19%と増加し、次いで40歳代（16%）、50歳代（14%）、10歳代（14%）の順であった。60歳以上の割合は17%であり、先週（26%）から減少した。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。60歳以下の各年代で先週から増加した。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で5.42人/定点であり、先週（3.92）から増加した。砺波管内では先週と同程度の報告数であった一方、その他の管内では先週から増加した。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第50週に27例の入院報告があり、先週（16例）から増加した。年代分布は、70歳代が44%、80歳以上が41%を占めた。（図7、8）。
- 第45週まで減少傾向であった患者報告数が3週連続で増加しており、今後の発生動向を注視していく必要がある。